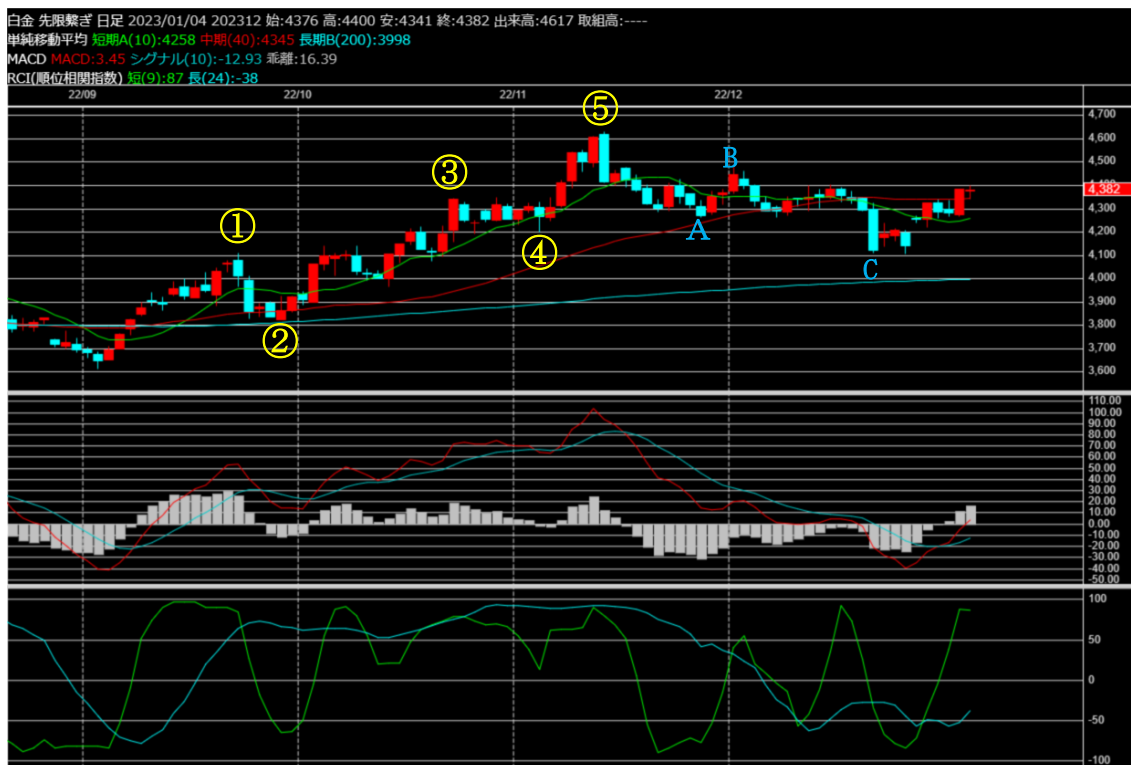


## ＜白金標準先物、新たな波動に移行し 4489 円が通過点・・・＞



(出所：オアシス)

2023 年 1 月 3 日に為替市場では「日銀の物価見通し上昇修正」という観測記事を材料に米国系短期筋主導の円買いを受け、円ドルは 7 ヶ月ぶりに 129 円台を付けている。

特に NY 白金は、年末には一時 1090 ドルに近づく水準まで高値を試しており、2023 年の最初の祝日取引では白金標準先物は年末の高値 4400 円を超えて 4404 円まで高値を試しており、12 月 14 日の戻り高値 4403 円を超えている。その事は、チャートで示す修正波動における B の高値 4489 円を目標に上昇を強めている事を示唆しており、新たな波動に入った事が予想される。

特に中国のコロナ感染拡大は、中国市場における自動車販売台数の低下や宝飾需要の低下など、白金需要を押し下げる要因となるが、昨年の恒大集団の破綻危機や上海市のロックダウンなど、中国要因のリスクの高まりで一時的に値下がりを見せても最終的には買い戻しが勝るなど、中国要因のリスクは買いチャンスへ変化している。また LME における非鉄金属の指定在庫は 25 年ぶりの最低水準まで低下しており、中国経済の回復から非鉄金属の価格上昇が予想されるなど、景気商品である白金価格も押し上げられる要因と見られ、強気を維持しながら 4489 円を試す可能性は高いと思える。

### ＜テクニカル＞

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD が上昇しながら、シグナルも上昇しており、RCI でも短期が+80%を維持しながら、長期は上昇しており強気を示唆している。また日足は 40 日移動平均線を上回るなど、4489 円に向けた値動きに思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 3,075,000 円(2023 年 1 月 4 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 36,080 円(2023 年 1 月 4 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>